東京鳥取県人会110周年記念 会員増強キャンペーン

◎現会員700余名から1、000人に向けて

東京鳥取県人会（八村義郎会長）はこのほど、創立110周年記念会員増強キャンペーンを開始した。実施期間は平成24年4月から平成25年末までの21ヶ月間。目標は300人の新規入会で、低迷している会員数を1、000人の大台に一気に乗せたい、としている。（会員数の現況は別図の通り）

東京鳥取県人会は、明治36年（1903年）、東京因伯郷友会として発足し、来年でちょうど110歳の節目を迎える。そこで、総計706人にまで縮小した会員数を300人上乗せし、創立110周年を盛大に祝いたい、と会員増強特別キャンペーンに乗り出した。

具体的な増強策としては①幹事（現在53人）全員に各3人の新規入会者を紹介してもらう②日本海新聞の在京県人紹介シリーズ「とっとり人」掲載者への入会勧誘③支店長その他で鳥取県に駐在した経験のある人々への入会呼びかけ④各在京同窓会や町人会への入会者推薦依頼⑤会員家族への改めての勧誘―などのキャンペーンが展開されている。

期間中の新規入会者には県が出しているハイカラな季刊PR誌「とっとりNOW」を無償提供するなどのサービスが実施され、年1回の総会盛り上げ策もいろいろと検討されている。

例えば、各同窓会が新会員を10人、20人単位で送り込んできた場合には、「マイテーブル」を用意して特別扱いするなどの方策をとる。また、かつての総会で横綱の故琴桜関や女優の司葉子さんが多くの出席者に喜ばれたように、有名芸能人や人気者をもっと積極的に招聘すべき、といった声も出されている。

そうした中で招聘芸能人の目玉と目されるのが、由紀さおりさんとの姉妹コンビで今や超売れっ子となっている安田祥子さんだ。

安田さんは7代目県人会長の元国連大使、澤田廉三さんの次男のご夫人であり、いまも「澤田祥子」名で県人会員名簿に名を連ねる立派な我々の仲間である。その安田さんに得意の1曲であり、わが鳥取県人会のテーマソングとも言える県出身作曲家、岡野貞一さんの「ふるさと」を歌ってもらえれば、創立110周年を大いに盛り上げることが出来るだろう、というわけである。

県人会事務局ではこのほか、もっともっと会員増強の有効な手立てはないものか、と広く一般会員への協力も呼びかけている。

（本池滋夫）

▲総会出席者ももっと増やそう（平成23年度の総会）

会員の現況（平成24年2月現在）

一般会員	585人
維持会員	121人
合計	706人

（地域別）

東部	288人
中部	173人
西部	231人
不明	14人
合計	706人

（年齢別）

20代	7人
30代	29人
40代	39人
50代	89人
60代	159人
70代	246人
80代	88人
90代	16人
不明	33人

（性別）

男	625人
女	81人

―鳥取県東京本部の新体制発足―

鳥取県東京本部の体制が一新された。まず、「総務行政」、「観光物産振興」、「産業振興・定住支援」の3チーム体制だったものが、「総務」、「情報発信」、「販路開拓」、「産業振興・定住支援」の4チーム体制に移行。これは、今年度秋、鳥取で開催される「国際まんが博」「国際マンガサミット」を控え、首都圏での情報発信機能を強化するため、情報発信チームを独立させたことによるものだ。

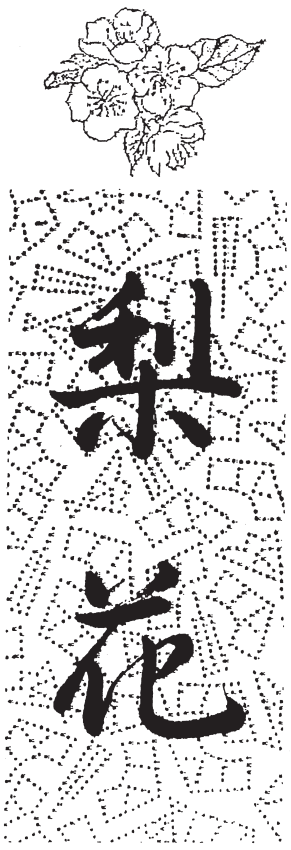
新しく東京本部に配属となったのは、小谷章副本部長、総務チーム所属の田中智副主幹、南健太郎副主幹、販路開拓チーム所属の古川義秀主幹、産業振興・定住支援チーム所属の宮脇浩史主幹、田中勝販路開拓コーディネータの6人。また、情報発信チームの主幹には、前年まで観光物産振興チームの副主幹であった田中祥一副主幹が昇任した。

なお、前任の吉村文宏副本部長は、名古屋代表部部長へ、小椋誠主幹は、福祉保健部長寿社会課課長補佐へ、山本直生主幹は、未来づくり推進局広報課課長補佐へ、淺見浩行主幹は、中部総合事務所倉吉農業改良普及所普及主幹へと異動となった。

県人会事務局関係については、小谷章副本部長が総括、総務チームの田中智副主幹が総務部会、総会、情報発信チームの寺谷次明副主幹が交流部会と広報部会を、南家希伊子（なんけきいこ）主事が交流部会（ガイナーレ事業）を担当することとなった。

（寺谷次明）

●今年の県人会総会は9月9日（日）です！昨年と同じ九段下ホテルグランドパレスにて正午より開催！！



題字／西尾邑次 名誉会員揮毫

第40号
2012年6月10日発行
東京鳥取県人会事務局
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10F
電話　03(5212)9178
FAX　03(5212)9079
発行責任者／八村義郎
編集／県人会広報部会
http://www.pref.tottori.lg.jp/tokyokenjin

■とっとりゆかりの食■〈4〉

おばあちゃんの素朴なおやつ「おいり」

木村幸子（倉吉市出身）

おとします。祖母はこの作業を毎日のように繰り返して、こそげだご飯を空き缶に納めていました。

ザルを前に、乾いたご飯を小皿でガリガリこそげている祖母の姿を見た父が「貧乏けなけ、やめない！」とよく言っていたのを思い出します（笑い）。

乾いたご飯が空き缶いっぱいになると、祖母はそれを厚手の鍋に入れ、しまってあった正月の餅花を加えて気長に煎るのです。ひとしきり煎って餅花がはじけたところで、今度は別の鍋に水飴、砂糖、おろし生姜を加えて煮立て、その中に煎ったご飯を入れてしゃもじで手早くかき混ぜ、食べやすい大きさの楕円形にまとめるのです。

私は姉と2人、できあがるのを今か今かと待ってましたね。カリカリの歯ざわり、さっぱりした甘さの中に、生姜の味がアクセントになって、ほんのり優しい味。シンプルで素朴な味わいがなつかしいです。

「おいり」は、残したご飯がもったいないということで作られるようになった県東部に伝わるお菓子のようです。作る過程で米を煎ることから「おいり」と名付けられたのだそうです。

あと、祖母の作る「よもぎだんご」にも思い出があります。祖母と一緒にカゴを持って小鴨川の土手によもぎを採りに行くのですが、私が横着して道ばたのよもぎを摘んでいると「いけん、いけん！、そこは犬がおしっこをかけとるけぇ、土手からちいと下りたところのよもぎを摘みない」と叱られました（笑い）。「どうせ、熱湯で茹でるんだけ、どこのよもぎでもええのに」と思ったけど、言うことを聞いて、土手を駆け下りて中腹のよもぎを一生懸命摘んだのもなつかしいですね。

（インタビュー／加藤雅子）

子どものころ、よくおやつで食べたのが、祖母が作ってくれた「おいり」です。

残りご飯を水で洗って、竹のザルに広げて天日干しにします。そしてカラカラに乾いたご飯を小皿を使ってこそげ

今年は「まんが王国とっとり建国イヤー」です！

水木しげる氏、谷口ジロー氏、青山剛昌氏をはじめ、著名な漫画家を数多く輩出してきた鳥取県では、今年を「まんが王国とっとり建国イヤー」と定め、これを記念して「国際まんが博（8月4日～11月25日）」、「国際マンガサミット鳥取大会（11月7日～11月11日）」等を開催します。

鳥取県東京本部では、これらのイベントや大会をPRするため、漫画・アニメ関係の大規模イベントに出展するほか、秋葉原や大規模ショッピングセンター等でPRイベント等を例年以上に活発に展開して参ります！（田中祥一）

随想リレー

異色の「とっとりふるさと大使」

東京鳥取県人会副会長　金子亮太郎

ロンドン五輪で活躍が期待されている「なでしこジャパン」をはじめ、チームスポーツでも世界的に活躍する「大和撫子」が増えているが、アメリカンフットボールの本場である米国の強豪チームで、溌剌とプレーしている若き鳥取県人は全ての試合に先発出場して大活躍をしている小倉典子さんがその人！　チームの「全米女子アメフト選手権」準優勝に貢献した。

小倉さんは、今年3月に、知事から「とっとりふるさと大使」に任命され、すぐさま「大使」としての活動を始動させた。米国人のチームメイトや友人に、写真が満載された「鳥取県観光ガイドブック」を見せて、どこに行ってみたいかを聞く一方、カリフォルニアの見所も推薦してもらう。そして、ホームページに「鳥取☆カリフォルニア往復便」というコラムを設け、日本語と英語のコメントに加えて、たっぷりの写真を添え、情報発信している。（皆さんも、ぜひ、一度アクセスしてご覧になって下さい）

ところで、実は筆者は、ごく最近まで小倉さんのことを女性がいる。

琴浦町出身で、カリフォルニアのサクラメント・サイレンスに2007年に入団し、2010年に同席していた小倉さんのTシャツにTOTTORIと染め抜かれていたのに彼が気付いて、「僕の親しい友人に鳥取県出身の人がいるよ」と声を掛け、話が弾んで大いに盛り上がったという。

早速小倉さんのホームページを閲覧して、パイオニア精神、チャレンジ精神に溢れる活躍を知り、嬉しく思った。

小倉さんには、これからも「COOL TOTTORI」をどしどし発信し、日米両国の親善と鳥取県・加州の交流に寄与されるよう、心から期待している。

（元明治安田生命保険社長）

●山陰を再発見
厳選された「旨い味」「匠の人」「手作り工芸」を季刊で紹介「こだわり情報誌」
キさんいんラリ　春号
発行元　㈲グリーンフィールズ
購読に関するお問い合わせは、下記取扱い書店へ。
東京新宿紀伊国屋書店　TEL 03-3354-0131
http://s-kirari.net/

●至純を追求する揺るがぬ姿勢
大山醸造場
久米桜酒造㈲　社長　田村健治
〒689-4108
鳥取県西伯郡岸本町丸山174-150
TEL 0859-68-6555
FAX 0859-68-6556

セブン-イレブンのおいしいパン
株式会社 武蔵野フーズ
代表取締役会長　安田定明
http://www.ms-net.co.jp/ms-foods
パン本来のおいしさを追求した12時間の「低温長時間発酵」

㈱グリーンハウスサービス
代表取締役社長　金田哲夫
〒151-0053　東京都渋谷区代々木2-7-3
TEL 03-5371-8677　FAX 03-5371-8637

地域の夢、お客様の夢をかなえる創造的なベストバンク
山陰合同銀行 東京支店
支店長　清田睦人
〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町15-6
TEL.03-3669-0211　FAX.03-3639-5250
URL.http://www.gogin.co.jp

県人会バスツアーの応援に応え ガイナーレが栃木SCに劇的勝利

去る4月30日（月・祝）に行われた東京鳥取県人会交流部会ガイナーレバスツアー。バスの定員ギリギリの41名の参加をいただいたが、前日まで1勝2分け7敗の最下位に沈んでいるうえ、相手が、4勝3分け3敗の格上の栃木SCということもあり、行きのバスの中では、参加者から後ろ向きの発言ばかり・・・。

会場の栃木グリーンスタジアムについても、スタンドは、栃木SCのチームカラー、黄色で埋め尽くされ、ガイナーレのチームカラー黄緑色はゴール裏に追いやられ、明らかに分が悪い。それでも、バスツアー参加者も遠路はるばる鳥取から詰め掛けたサポーターも声を枯らし、旗を振り回し、ガイナーレの勝利を願ったが、試合開始後も、ボールの支配率で圧倒され、栃木SCの決定力不足とガイナーレの守護神GK小針のファインセーブ連発で何とか0―0をキープしているという状況。

しかし、後半もロスタイムに入り、ようやく引き分けで勝ち点1確保か?と安堵していた93分、サポーターの思いが天に通じたのか、オーバーラップしたDF尾崎の劇的なゴールにより、1―0で勝利した。その瞬間、栃木SCサポーターからはため息が漏れ、ガイナーレ鳥取サポーターの歓声が栃木グリーンスタジアムにこだました。

最後に、7月15日（日）VS川崎ヴェルディ戦、7月22日（日）VS横浜FC戦は「ガイナーレ応援デー」で、割引チケットの斡旋と併せてエスコートキッズを募集中ですので、詳細は、事務局までお問い合わせ下さい。

（寺谷次明）

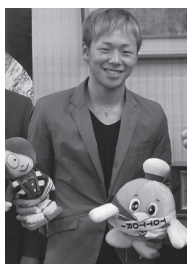
鳥取県出身のスポーツ選手が活躍中！

昨今、瀧本美織さん（NHK朝の連続ドラマ小説「てっぱん」のヒロイン）や山本舞香さん（第14代　三井のリハウスガール）など、鳥取県出身の女優さんの活躍がクローズアップされていますが、スポーツ選手も負けじと活躍中なのをご存知でしょうか?

今回紹介する1人目は、キックボクサーの「武尊（タケル）さん」。武尊さんは、鳥取県米子市出身の22才で、チームドラゴンに所属し、「Krush」を主戦場に「K-1」のチャンピオン目指し、文字通り格闘中です。

2人目は、女子プロゴルファーの「永田あおいさん」。永田あおいさんは、鳥取県倉吉市出身の24才。倉吉西高校を卒業後、2008年にプロテストに合格し、昨年2011年度のステップアップツアーで年間賞金女王に輝きました。158cmの小さな体から繰り出すドライバーショットを放ち、攻めのゴルフを展開する姿から「鳥取のバーディ娘」という愛称があるとか。去る4月27日（金）には、東京激励会が開催され、40名強の出席があり、盛会となったとのこと。ツアー優勝、賞金女王を目指したいとのことです。

郷土が誇る2人のアスリートの更なるご活躍を期待します。（寺谷次明）



▲ニッコリ顔の武尊（タケル）選手

若い鳥取県応援団 ―近況報告―

結成後今年度で9年目を迎えた「若い鳥取県応援団」。加藤貴之団長から鳥取市出身の辻堅太郎団長にバトンタッチして、若いメンバーも増えています。

昨年度、盛大に行った「とっとりバーガーフェスタ@東京タワー」。これに続く7月1日の「とっとりバーガーフェスタ@秋葉原」を面白く盛り上げられるよう、メンバーで智慧を絞っているところです。県人会との連携、県人寮との連携も進めていきますので、ご声援をよろしくお願いします。

（岩谷　圭）

東京鳥取県人会 110周年史 ―その1―

東京鳥取県人会が東京因伯郷友会として発足したのは、明治36年（1903年）のことである。従って、来年平成25年（2013年）は記念すべき110周年ということであり、「梨花」の紙面を借りてその主な流れを振り返っておきたい。

維新後、明治も半ばになると、元鳥取藩主、池田仲博候の下にはいわゆる士族という身分を持つ上京元藩士や県出身の将校軍人らが何かにつけて集まっていた。いつも原宿にある広大な池田邸内は県人で賑わい、そのうち当時、池田家の家令（昔で言う家老）をしていた山根光好氏らを中心に、上京県人結束の場を作ろうではないか、と東京因伯郷友会の名が生まれた。

記録に残る範囲で知られる当時の会則の主な点は①会の目的は在京県人の親睦が主体②役員は池田侯爵を総裁とし、その指名による会長1名、幹事、評議員若干名をおく③政治活動とは無関係のこと―など。事務局は原宿の池田邸内に置き、会費は徴収しない、などといったことも決められていた。

このため、春秋2回の総会はすべて池田家の費用でまかなわれ、会員たちは池田邸内に参集して、池田候と言葉を交わすことを最高の栄誉と感激し、お互いの健康を祝して親睦を深めたという。

池田候に関してはこのほか、小石川区原町（現在の文京区白山）にあった池田家の400坪の用地に久松学舎なるものを建て、県出身学生に宿舎を提供した、などの貢献も語り継がれている。

その池田総裁が東京因伯郷友会の初代会長に指名したのは、鳥取市出身の法学博士で文部大臣も勤めた奥田義人氏だった。奥田会長は亡くなられる寸前まで郷友会のために尽力されたと伝えられ、次いで2代目会長には明治天皇侍従武官長として長く宮中に仕えた陸軍大将の内山小次郎氏が指名された。

要するに、発足当初の東京鳥取県人会（因伯郷友会）は、旧藩主、池田家と切っても切れない関係にあった。従って、その観点からも2011年春、県人会が池田家16代当主、池田百合子さんを西尾邑次元鳥取県知事に次ぐ2人目の名誉会員として迎え入れたことの意義は、遅きに失した感が否めないとはいえ、決して小さくない、と言えよう。

このあと、3代目森広蔵会長（旧安田銀行副頭取、東京手形交換所理事長）、4代目村上恭一会長（旧枢密院書記官長）も池田総裁の指名によって誕生した。村上会長時代、池田家より東京因伯郷友会基本金として当時の金で1,000円が寄付され、その利息が会運営諸費に充てられていた、とも伝えられる。

◇

ひょんなことから、2つの110年史に挑むことになった。1つはむろんここでスタートさせた「東京鳥取県人会110年史」であり、いま1つは我が母校、鳥取県立米子東高在京同窓生の集まりである東京米城会の110年史である。

ともに来年、2013年（平成25年）が創設110年に当たり、後進のためにもこの辺りでまとまった記録を残しておく意義は小さくなかろう、との趣旨から取り組むことにしたものである。

県人会の110年に関しては、大先輩の故石井芳雄氏が昭和44年（1969年）、324頁の大冊「東京鳥取県人会史」を出版しておられるので、これを土台にさせていただける。しかし、難題は米城会の方で、こちらは記録の発掘から始めなければならず、当分、悪戦苦闘を強いられることになりそうだ。

（本池滋夫）

▲漫画／かわにしよしと

交流部会より

東京鳥取県人会交流部会は、7月4日（水）に六本木にある国立新美術館において「大エルミタージュ美術館展特別鑑賞会とディナーの夕べ」を開催します。

「大エルミタージュ美術館展特別鑑賞会」は、ロシアのエルミタージュ美術館が所蔵している16世紀から20世紀の間の西欧美術を代表するルーベンス、レンブラント、モネ、ルノワール、セザンヌ、マティス、ピカソら83作家の89作品を展示する、貴重な展覧会です。また、国立新美術館の学芸員の方にレクチャー付で通常の鑑賞では味わえない特典もあります。

ディナーは、国立新美術館内の「ポール・ボキューズ・ミュゼ」。フランス料理界の巨匠でミシュランの3つ星の常連、ポール・ボキューズ氏が日本で初めてオープンしたブラッスリーです。芸術鑑賞後の余韻に浸りながら、お皿の上で表現されたアートと料理のコラボレーションを楽しむことが出来ます。

今後も交流部会では、ガイナーレ応援事業といったスポーツ関連のものから、今回の美術・芸術に触れることが出来るような企画も立案していきますので、積極的にご参加下さい。

（寺谷次明）

県人会のお店

「バニーガール」が応対してくれる　おでんバー おでんBARny「UP」

新橋駅から2、3分程の繁華街のど真ん中にこの店はある。

ビルの入口で、前掛け姿の店長が待っていてくれた。鳥取県人の梅林亮さん（写真左）である。イケメンの店長だ。

導かれるままに2階へ。

店内に入ると、右手に10名程が座れるカウンター席が湾曲に伸び、その背後に15名程のテーブル席が囲む。ここがいま、新橋で話題の「バニーガールが居るおでんバー」なのである。

「どうぞ、カウンター席へ」

言われるままに奥から3つ目の特等席というカウンター席に取り付いた。梅林店長はすでにカウンターをはさんで相対している。

梅林さんは、東京に出て来て26年になるという。境高OBである。20歳の時、初めて持ったお店が六本木で、名付けた店名が「やっぱり逃げた!!」だったとか。奇抜な発想は梅林さんの真骨頂というべきか、鈴木加子オーナー（写真右）と知り合って、「バニーガールが居るおでんバー」を仕立てたのも梅林さんのアイデアだと判った。開店して1年5か月になる。

気付けば、店長の隣りに、うさぎの耳飾りをつけて、ハイレグ網タイツに胸キュンのバニーガールちゃんがひかえている。店内に飾り気がないせいもあるが、思っていたほどの違和感はない。むしろ、落ち着けるお店なのである。

おでんの仕込みは六本木時代に培ったといい、よそに負けないおでんの味をと、これが梅林さんの客へのもてなしだ。そして、何よりもリーズナブルな料金設定であることが自慢だ。

おでんは一品100円から300円までと決まっている。ドリンクは500円から。テーブルチャージ800円を加えても5千円でお釣りがくるから安い。なるほど、若中年層のサラリーマン客が後をたたないのも判るような気がする。「梨花」を見たと、顔を出してね。○港区新橋4―19―3王子ビル2F○電話03・3578・3336○営業19時～24時○休日／日祭、土は団体予約有

写真／文　遠藤隆司

県人会ゴルフ・因伯オープンの結果

平成24年5月17日、好天の下、初参加6名を含む24名の参加を得て、神奈川県藤沢市の芙蓉カントリー倶楽部で因伯オープンが盛大に開催された。優勝は野一色靖夫さん（グロス90、ネット68）、2位は生田憲久さん（グロス100、ネット68・4）。ブービー賞は畑中静子さん。（グロス120、ネット84）次回は、10月11日（木）に開催予定。

（寺谷次明）

囲碁の会

第13回東京鳥取県人会囲碁大会が6月2日に麹町の「ダイヤモンド囲碁サロン」にて行われました。当日は23名の同好者が集い激戦を繰り広げ、A組は梅林淳氏（米子市出身）が、B組は萬治隆生氏（倉吉市出身）がそれぞれ優勝しました。

次回の第14回囲碁大会は、11月頃開催予定です。参加費は昼食・懇親会費を含めて5,000円です。賞品はA組B組とも優勝から第3位に加えて飛び賞もありますので、同好の方々には奮って参加してください。新規参加希望等については囲碁同好会事務局の西尾憲之さん（090―2168―1106）までお問い合わせください。

編集後記

▼県人会が創立110年とは驚愕だが、会員としては誇りとしたい。▼「梨花」は本号をもって14年目を迎えた。▼本号より担当交代。岩谷圭さんご苦労様。寺谷次明さんよろしく。（遠藤）